

第5期クラウドコンピューティング研究会 第2回研究会を開催いたしました

2013年7月22日(月) 14:00~18:30
会場: 日本能率協会ビル 3階「304」研修室

1. コーディネーター問題提起 14:00~14:10

コーディネーター
株式会社インプレスビジネスメディア
IT Leaders 編集長 田口 潤 氏

2. 講演 ① 14:10~15:00

「ソーシャルクラウドと公共オープンデータ その動向と展望」



株式会社日立コンサルティング
戦略インキュベーション推進本部 テクニカルディレクター
小池 博 氏
(内閣官房 電子行政オープンデータ実務者会議 構成員/
データ WG 主査代理)

3. 講演 ② 15:10~16:00

「大ヒット SNS ゲーム「ドラゴンコレクション」登場から3年



KONAMI のクラウド活用の進化
株式会社コナミデジタルエンタテインメント
スタジオ IT センター センター長
正延 光弘 氏

4. Buzz Session(討議と質疑応答) 16:00~16:50

5. 委員長講評 16:50~17:00

株式会社 NTTPC コミュニケーションズ
代表取締役 社長 前沢 孝夫

【オープンデータについて】オープンデータ的前提を日本はよく知られていない。G8 での方針にはロシア、中国は入っていない。民主主義の向上のためとの意味合いが強い。このような背景があるということを前提に立ち回らなければならない。また、自治体データが生で入手できるかということは無く、メタデータとなるだろう。そのほうが利用の利便性や適用場面が広がり、柔軟性も高くなる。とにかく情報集積が重要である。

【コナミ殿】クラウドがなければ成り立たない業界となっていて、依存度は高くなっている。この事業が成立するには、利用側と提供側相互の関係性が重要で、パートナーとなるべきである。従来の発注者・受注者の関係ではいけない。

【今回のテーマに関して】ネット選挙について。これはマスコミを使つての政治活動である。有効性を高めるには「共感と拡散」がキーワードである。

6. 情報交歓会 17:00~18:30 (地下1階「すずらん」)



【事務局所感】

講演1 公共オープンデータという企業活動でのデータではない領域の現状や今後について解説された。どのような種類のデータが何時提供されるのか、という政府・自治体の計画について、また、オープンデータの開示は国際舞台(G8)でも言われている現状についての話が興味深い。

講演2 コナミ様でのソーシャルゲームでクラウド環境をどのように利用しているかを解説された。

一般企業での利用とは規模の面で大きく異なり、一般消費者向けでありアクセス量の増減が大きいという環境をクラウドによって制御されている。IIJ 殿とのパートナー連携により、1000 台を超えるサーバーを日々運用されている。

参加者からの質問

- ・オープンデータの具体的な活用場面
- ・オープンデータとして開示されるのはどのレベルのデータなのか? また、マイナンバー施行によって自治体間の連携が行われるのか?
- ・コナミ殿の海外でのサービス
- ・IIJ 殿の利用課金はどのようにしているのか?